

Ⅲ-2 言っただけでできるようになる子どもはいません

【プログラムのねらい】

・子どもが自分から整理整頓に取り組むようになる方法や言葉掛けを考える。

【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ分け（4～5人のグループに分ける） 	P2「アイスブレイキング各種」参照
30分	<p>▶ Work</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み上げ、太郎君・お母さん、観察者の役割を決めて、ロールプレイを行う。 ※各役割を演じた感想を発表する。 ・お母さんの今までの対応について話し合う。 ・部屋の片付け方を教える手順や留意点を考える。 ※「言って聞かせ・・・」の言葉に沿って手順や留意点をまとめ発表する。 ・グループで話し合い、意見をまとめる。 ※資料「家庭で守らせている決まりやルール」を参考に、片付け以外のルールについても話し合う。 ・各グループで出された意見を発表する。 ※子どもが進んで片付けるようになるアイデアを積極的に出すようにする。 	<p>ワークシート 筆記用具 役割分担名札</p> <p>「言って聞かせ・・・」の言葉の掲示</p> <p>資料</p>
20分	<p>▶ グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート